

# 封戸保育園 だより

2021  
(令和3)

6月

No. 602

【編集・発行】  
封戸保育園  
0978-22-3677



◆5月23日アメリカの絵本作家エリック・カール氏(91歳)が亡くなりました。

◆「はらぺこあおむし」を始め「パパ、お月さまとって!」などは保護者の方も幼少期親しんだ絵本ではないでしょうか。

◆「はらぺこあおむし」は実は日本で初めて刊行されたのです!!

◆ページのサイズがバラバラだったり、穴をあけたりといったデザインは制作コストとの折り合いがつかず、アメリカでは出版社が見つからないというトラブルがありました。

◆そのとき声をあげたのが日本の「偕成社」でした。

1969年にオリジナル(原書)の「はらぺこあおむし」が誕生、1976年にもりひさし訳による日本語版が刊行されました。

◆当時の偕成社の社長今村廣さんが作品に惚れ込んで印刷・製本を一手に引き受けたそうです。

◆このことを知った学生時代。更に「はらぺこあおむし」が身近に感じて嬉しく思ったことを思い出します。

◆何世代も読み継がれていく絵本の1冊だと思っています。

## おたんじょうび おめでとう!



### 8名のお友だちが お誕生日を迎えます



朝の仏参の時にみんなで口にする4つの「おやくそく」。口にするのは簡単でもそれを理解して行動に移すのはとても難しいことです。「なかよく」するためには、ぶつかり合う必要がありますし、「おはなし」をよく聞くためにはなぜ聞く必要があるのだろうか子どもなりに理解する必要があります。

「おやくそく」と実体験を結び付けていくためには沢山の体験が必要となります。どの体験がいつ、どの子どもの心に響いていくのかわかりませんが日々の保育の中でのいろいろな体験を今年も大切にしていきます。



### 保育園での「おやくそく」

わたくしたちは、みほとけさまをおがみます  
わたくしたちは、いつもありがとうといえます  
わたくしたちは、おはなしをよくききます  
わたくしたちは、みんななかよくいたします

朝の仏参の時にみんなで「おやくそく」を言いながら、耳で聞きながら、手を合わせてお参りします。



先日遊んでいる中で、子どもがカエルを棒で突き刺して死なせてしまうという出来事がありました。昔はカブトムシなどが死んだときに「電池」が無くなったんだよという子どもがいましたが、今はゲームの中で死んでも生き返るという経験します。現実の命は2度と生き返りません。このことを伝えていくためにはやはり口だけで「悪いよ」「かわいそうだよ」ではなく、「いのち」ということについて「生きている」ということについて、体験を積み重ねていく中で「経験」に変えて知らせていかなくてはと感じています。



30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	6月行事予定
水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	
							誕生会					避難訓練		本堂仏参						時の記念日										

